

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

なお当該入札公告は、当院ホームページ上にも掲載する。

令和6年10月29日

日野病院組合

管理者 塚田 淳一

記

1. 調達内容

(1) 調達物品の名称及び数量

自動再来受付機 2台

(2) 調達物品の仕様等

別紙自動再来受付機仕様書のとおり

(3) 納入期限

令和7年1月31日(金)

(4) 納入場所

鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合 日野病院

(5) 入札方法

入札者は、調達物品の本体のほか、運送費、保険料、関税、据付工事費、稼働させるための設備改修費及び仕様書等に規定するもの等納入に要する一切の諸経費を含め金額を見積もるものとする。また入札者は、消費税に課税事業者であるか、非課税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 入札参加資格

この入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

(1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 次のア～カのいずれかに該当があった後2年間を経過しない者、これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者でないこと。

ア. 契約の履行に当り故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたもの。

イ. 公正な競争の執行を妨げたもの又は、公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者。

- ウ. 入札者が契約を結ぶこと又は契約を履行することを妨げた者。
 - エ. 監督又は検査の実施に当り職員の職務の執行を妨げた者。
 - オ. 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者。
 - カ. 上記のア～オのいずれかに該当する事実があった者を、契約の履行に当り、代理人、支配人その他の使用人として使用した者。
- (3) この公告に示した物品を納入期限までに納入場所に納入することができる者であって、当該物品の納入後、保守、点検、修理その他のアフターサービスを求めに応じて速やかに提供できる者であること。
- (4) 入札の日において、国または地方公共団体から指名停止の措置を受けていない者であること。

3. 入札説明書、仕様書等の交付場所等

- (1) 入札説明書、仕様書等の交付場所及び問い合わせ先
〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332
日野病院組合 日野病院 総務課 矢田貝
電話：0859-72-0351 FAX：0859-72-0089
又は、日野病院ホームページから入手
- (2) 入札説明書の交付期間
令和6年10月29日（火）～令和6年11月8日（金）午前8時
- (3) 入札及び開札の日時及び場所
令和6年11月8日（金）午前10時
日野病院 第2会議室
- (4) 郵便等による入札
不可とする。

4. 落札者の決定

本入札説明書に従い入札書を提出したものであって、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

5. その他

- (1) 契約手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨とする。
- (2) 入札保証金及び契約保証金
免除する。
- (3) 契約書作成の要否
要
- (4) 詳細は入札説明書による。

入 札 説 明 書

この入札説明書は、本件公告にさだめるもののほか、本件調達に係る入札及び契約に関し、入札者が熟知し、かつ遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

1 調達内容

(1) 概要

本調達は、日野病院組合日野病院に調達物品を導入する。

(2) 調達物品の名称及び数量

自動再来受付機 2台

(3) 調達物品の仕様等

別紙自動再来受付機仕様書のとおり

(4) 納入期限

令和7年1月31日（金）

(5) 納入場所

鳥取県日野郡日野町野田332 日野病院組合日野病院

2. 入札参加資格

この入札に参加する資格を有する者は、次に掲げる要件をすべて満たす者とする。

(1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 次のア～カのいずれかに該当があった後2年間を経過しない者、これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者でないこと。

ア. 契約の履行に当り故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたもの。

イ. 公正な競争の執行を妨げたもの又は、公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者。

ウ. 入札者が契約を結ぶこと又は契約を履行することを妨げた者。

エ. 監督又は検査の実施に当り職員の職務の執行を妨げた者。

オ. 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者。

カ. 上記のア～オのいずれかに該当する事実があった者を、契約の履行に当り、代理人、支配人その他の使用人として使用した者。

(3) この公告に示した物品を納入期限までに納入場所に納入することができる者であって、当該物品の納入後、保守、点検、修理その他のアフターサービスを求めに応じて速やかに提供できる者であること。

(4) 入札の日において、国または地方公共団体から指名停止の措置を受けていない者であること。

3. 入札手続等

- (1) 入札書の提出場所、入札に関する問い合わせ先

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332

日野病院組合日野病院総務課 担当 矢田貝

電話：0859-72-0351 FAX：0859-72-0089

- (2) 入札及び開札の日時及び場所

令和6年11月8日（金）午前10時

日野病院 第2会議室

- (3) 郵便等による入札

不可とする。

4. 入札方法等

- (1) 入札者は、調達物品の本体のほか、運送費、保険料、関税、据付工事費、稼働させるための設備改修費及び仕様書等に規定するもの等納入に要する一切の諸経費を含め金額を見積もるものとする。また入札者は、消費税に課税事業者であるか、非課税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (2) 予定価格以内の入札がないときは、予定価格以内の価格に達するまで、再度入札を1回のみ行う。
- (3) 入札書は、件名及び入札者名を記入し、「入札書」と明記した封筒に入れ、密封して提出しなければならない。
- (4) 代理人に入札書を提出させるときは、必ず委任状を提出しなければならない。
- (5) 入札書及び委任状の宛名は「日野病院組合管理者 塚田 淳一」とすること。
- (6) 入札者は、いったん提出した入札書の書き換え、引き換え又は撤回することはできない。
- (7) 入札後、本件公告、基本仕様書並びにこの入札説明書等の不知又は不明を理由として、意義を申し立てることはできない。

5. 入札の無効

- (1) 本件公告に示した入札参加資格のない者の入札
- (2) 入札者に求められる義務を履行しなかった者の入札
- (3) 他の入札者の代理人を兼ねた者、又は2人以上の入札者の代理をした者の入札
- (4) 委任状のない代理人の入札
- (5) 入札に関して不正のあった者の入札
- (6) 記名押印のない入札書による入札
- (7) 入札書の金額、氏名、印影、その他入札に関する要件を欠き、又は重要な文字を誤脱し、若しくは記載内容を確認しがたい入札書による入札
- (8) 協定、会計法令、財務規定、会計規則、特例規則、本件公告及びこの入札説明書に違反した入札

6. 落札者の決定

本入札説明書に従い入札書を提出したものであって、予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

なお、再入札を行った場合でも落札者がいない場合は、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により最低価格入札者と交渉を行うものとする。

7. 契 約

(1) 契約する者

鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合

管理者 塚田 淳一

(2) 契約担当部署

日野病院 総務課

(3) 契約手続において使用する言語、通貨及び時刻

日本語、日本国通貨及び日本標準時

(4) 契約書作成の要否

要

(5) 手続における交渉の有無

無

自動再来受付機仕様書

項目			要求仕様等
自動再来受付機			自動再来受付機に関して、以下の要件を満たすこと
調達物品内容			自動再来受付機本体 2台
			受付機制御コントローラ 1台
性能及び機能に関する要件	1		通信及び接続の条件に関し、以下の要件を満たすこと
	1	1	医事会計システムと自動再来受付システムをLAN接続（TCP/IPソケットインターフェース）で接続でき、接続仕様は医事会計システム連携仕様に準拠すること
	1	2	当日の予約が有る患者の受付と、予約が無い患者の受付が可能なこと
	1	3	1回の受付で同時に20項目以上受付ができ、予約有りの患者と予約無し診療科の混在受付が可能なこと
	1	4	「受付できる条件」や「受付できない条件」を設定可能なこと（保険証有効期限切れ、保険証確認日から一定期間経過、月初来院、最終来院日から一定時間経過、特定患者来院時など）
	2		自動再来受付機本体に関し、以下の要件を満たすこと
	2	1	画面はタッチパネル方式で、21.5インチ以上の液晶カラーディスプレイであること
	2	2	車椅子に座ったままで、本体正面から無理な姿勢をしないで使用可能なこと
	2	3	患者ID入りの磁気ストライプカードの読取ができるカードリーダを搭載していること
	2	4	操作を促す人感センサーを内蔵していること
	2	5	カード挿入口と用紙排出口にランプ点灯機能を有しており、利用者の操作をガイドできること
	2	6	音声ガイダンス機能が付いていること
	2	7	カレンダースケジュールタイマーによる電源ON/OFFの自動運転機能を搭載していること
	2	8	左右からの覗き見を防止するプライバシー対応モニターであること
	2	9	本体機器設置後でも設置場所の移動が自由にできること
	2	10	診察券の取り忘れアラーム機能があること
	2	11	サイドパーテーションは遠方から稼働状況認識が可能なLED付であること
	3		自動再来受付機アプリケーションに関し、以下の要件を満たすこと
	3	1	受付待機画面にて、病院の任意で案内文字の表示が可能なこと（代診案内など）
	3	2	受付待機画面にて、職員による暗証操作により、患者IDをテンキー入力できる画面に切替表示して受付可能なこと（診察券磁気データ破損時などに利用）
	3	3	画面上に受付した患者氏名の表示ができ、外字の場合は、カナ氏名に自動的に置き換え可能なこと
	3	4	ボタンの表示は、診療科/診療内容/医師名など、階層ごとに設定可能なこと
	3	5	1画面に30科以上の診療科を表示可能なこと
	3	6	診療科及び診療内容は70項目以上登録・表示可能なこと
	3	7	医師名は9,999名以上登録・表示可能なこと
	3	8	診療科毎に診療内容の登録・表示可能なこと（内科の場合は「診察」と「薬」、整形外科の場合は「診察」と「薬」と「リハビリ」など）
	3	9	休診診療科のボタンの表示・非表示設定が可能なこと
	3	10	休診診療科のボタンを選択した場合、「本日は休診です。緊急時は3番窓口までお越しください」などのメッセージ画面を表示可能なこと
	3	11	操作間違いの為、「取消し」ボタンの他に「一つ前に戻る」ボタンを有していること
	3	12	受付終了画面にて、特定の患者に対して注意を促す文字画面の表示可能なこと（保険証確認必要患者に対し、「診察前に5番受付までお越しください」など）
	3	13	ボタン操作により、画面表示や音声ガイダンスが、日本語・英語に自由に切替可能なこと
	4		受付票に関し、以下の要件を満たすこと
	4	1	患者IDや受付番号などのバーコード（1次元・2次元）が印字できること
	4	2	患者氏名の印字ができ、外字の場合にはカナ氏名に自動的に置き換え可能なこと
	4	3	印字内容は自由にレイアウト可能なこと
	4	4	年月日は西暦・和暦どちらでも印字可能なこと
	4	5	文字種はANK、漢字JIS第1第2水準を網羅すること
	4	6	特定の患者に対して注意を促す文字の印字が可能なこと（保険証確認必要患者に対し、「診察前に5番受付までお越しください」など）
	4	7	選択された診療科/診療内容/医師名など各階層の組合せにより、患者誘導場所の印字が可能なこと（整形外科/診察を選択した患者に対し、「2階Bブロック受付までお越しください」など）
	4	8	【プリンタに関して】
	4	8	1 用紙は紙詰まりの少ない80mmサーマルロール紙が利用可能なこと

自動再来受付機仕様書

項目			要求仕様等	
	4	8	2	連続で受付票を発券する際、パーシャルカットでの発券が可能なこと
	4	8	3	受付内容により受付票の長さを変えることが可能なこと
	5			受付機制御コントローラに関し、以下の要件を満たすこと
	5	1		受付機制御コントローラにより電源のON、OFF、再起動を遠隔で操作できること
	5	2		本体の用紙切れ警告や、その他異常を知らせるアラーム通知機能があること
	5	3		診療科ごとに表示するボタンの年月日及び時間の設定が可能なこと
	5	4		診療内容ごとに表示するボタンの年月日及び時間の設定が可能なこと
	5	5		医師ごとに表示するボタンの年月日及び時間の設定が可能なこと
	5	6		本体の受付待機画面にて表示する案内文字をいつでも自由に設定可能なこと
	5	7		患者IDの入力により、特定の患者を検索できること
	5	8		受付一覧表や、診療科/診療内容受付数一覧表が出力できること
	5	9		患者が受付すると「カルテ出庫プリンタ」から職員控への受付票が発行可能なこと
	6			拡張性に関し、以下の要件を満たすこと
	6	1		オンライン資格確認の顔認証カードリーダーと連携し、画面に操作方法の案内等を出すのが可能なこと。 尚、顔認証付きカードリーダーで読み取り後資格確認端末に支払基金から返答のあった患者IDを利用した受付ができること。
	6	2		遠目からでも再来受付機とわかるようなパーテーションバナーの取り付けが可能なこと
	6	3		患者IDのバーコード・QRコードが読取れる「バーコードリーダー」が搭載可能なこと
	6	4		自動再来受付機と同じ受付票発行が可能な「窓口用手動受付機」の対応可能なこと
	6	5		荷物置テーブルを取り付けが可能なこと
	6	6		レーザープリンタ対応もできること
	6	7		卓上型対応が可能なこと
性能及び機能以外の要件	7			障害支援体制について、下記の要件を満たすこと
	7	1		障害があった場合、迅速に保守する体制が整っていること
	7	2		障害があった場合の連絡窓口は1箇所であること
	8			設置場所等
	8	1		設置場所は病院の指定場所とすること
	8	2		電源はAC100Vで使用でき、消費電力も最大（ピーク時）で200W以内であること
	9			その他
	9	1		自動再来受付システム導入後、取り扱い方法について教育訓練を行うこと
	9	2		保守は導入後、12ヶ月間を無償保守期間とし、5年間は保守契約において修理対応すること
	9	3		無償保守期間終了後の保守対応は、別途契約とすること
導入作業、開発要件				以下の導入作業を行うこと
	10	1		既存の富士通医事会計システム（HOPE SX-R）との連携仕様に合わせた連携を行うこと
	10	2		受付票に印刷を行う受付番号を1日単位に院内で一意的連番に変更できること
	10	3		現在の運用と同等な受付処理が行えるよう開発を行うこと
	10	4		現在発行している診察券で受付処理が行えるようにすること
	10	5		受付機で登録する診療科及び診療内容は現在と同等とし、医師の選択もできること
	10	6		受付処理後に発行される受付票は現在と同じ様式とすること
	10	7		設置取り付け作業を行うこと
	10	8		本稼働日の立会を行うこと